神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第9章 その他の疾病対策等

第4節 健康危機管理体制

とりまとめ担当課:保健福祉局保健医療部健康危機管理課

1 課題に対する平成27年度の取組実績

(1) 健康危機管理体制の整備及び充実強化

→エボラ出血熱疑い患者が発生した際の移送体制については、県が契約している民間救急車で行うことを取り決めているが、患者等が複数同時に発生する等の保健所の移送能力を超える事態が生じた場合に、消防機関へ協力要請を行い移送する体制を定め、協定書を締結した(5月)

→27 年アラビア半島諸国を中心に発生が確認された中東呼吸器症候群 (MERS) について、韓国での感染がみられたことから、保健医療部長を座長として神奈川県MERS連絡会議を設置し、また、県民に対してホームページを開設し情報提供をおこなった。(6月)

(2) 保健福祉事務所における機能強化

→健康危機管理に係る専門的人材の育成

<概要>

- ・各保健福祉事務所において、食品等事業者、福祉施設・医療機関等職員、地域住民、 市町村等を対象に食中毒、感染症対策、エイズ・結核対策等の講習会、研修会等を開催
- ・保健福祉事務所が、管内市町村保健師及び職員等を対象とした感染症対策研修会を開催
- ・消防、警察職員等と連携したエボラ出血熱患者等の移送訓練
- ・図上訓練の実施
- →住民意識を高めるため、地域住民のリスクコミュニケーションを図る

<概要>

- ・ 感染症対策会議(管内病院、医師会等医療関係団体、消防、市町村等)の開催
- ・地域住民等を対象に感染症対策、災害時の食に関する要援護者対策、救急法の普及啓発、食の安全・安心等の各種講演会の開催
- ・感染症発生情報や感染症マニュアル等をホームページに掲載

2 参考指標の推移

取組	指標	指標名	単位	神奈川県			出典等
区分	区分			H25 年度	H26 年度	H27 年度	山州守

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1)健康危機管理体制の整備及び充実強化

評価	(A) · B · C · D
評価分析	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく危険性が極めて高い一類感染症の エボラ出血熱について、健康危機管理体制の整備を順調に進めた。
評価理由	エボラ出血熱疑い患者が発生した際の移送体制についての協定を、県と消防本部を持つ市町(県所管域)全てと締結した。 感染力、罹患した場合の危険性が高い二類感染症の中東呼吸器症候群について、庁内連絡体制及び保健福祉事務所等での24時間対応等の体制を整備した。
今後の取組み	引き続き、健康危機の発生時について安全に迅速に対応できる県としての体
の方向性	制整備と、県民が状況を的確に認識した上で行動できるよう情報提供を行う。

(2)保健福祉事務所における機能強化

評価	$(A) \cdot B \cdot C \cdot D$
	各保健福祉事務所において、各種専門的な講習会、研修会を開催する等、健
	康危機管理に係る専門的人材の育成及び住民意識を高め、地域住民のリスクコ
評価分析	ミュニケーションを図るための取組を実施した。
	また、関係団体と訓練及び研修会等を実施することで、連携体制の充実強化
	とともに専門的人材の育成を図った。
亚 伊田市	保健所の運営に係る地域における健康危機管理の拠点としての機能強化を図
評価理由	るための課題解決に向けて、順調に進捗している。
今後の取組み	引き続き、保健福祉事務所における健康危機管理の拠点としての機能強化に
の方向性	取り組む。

4 総合評価

評価	評価理由				
	健康危機管理体制の確保及び保健所の運営に係る地域における健康危機管理の				
A	拠点としての機能強化については、いずれについても、課題解決に向けて順調に				
	進捗している。				

5 特記事項